

主要事業の概要

水道設備の維持管理を行うとともに、施設、管路の耐震化並びに施設、設備の老朽化対策及び機能向上を着実に実施し、安全・安心、安定的な水道用水の供給体制の整備に努めます。

また、近年頻発する豪雨による原水の濁度上昇に加え、油類混入等による取水河川の水質汚濁のリスクに備えるため、活性炭注入設備の増強による大規模災害への対策強化を図ります。

(消費税込み)

	業 務 量 等		主 要 事 業
	令和2年度要求	令和元年度当初	
供給区域	松本市、塩尻市、山形村	松本市、塩尻市、山形村	○水道事業改良費 840,600千円 ・施設・管路の耐震化 (完了：施設は令和5年度、管路は令和6年度) 耐震管布設工事(東山支線) 本山浄水場排水処理施設等耐震化 ・老朽化対策の推進 施設、設備の更新(薬品注入設備取替工事等) 水質検査機器及び水質監視装置の更新 ・リスクマネジメント (新)豪雨等による高濁度対策の推進 片平取水場における取水機能の強化 (新)送水幹線管内内面調査業務 13,200千円
年間総供給量	29,555千m <sup>3</sup>	※29,646千m <sup>3</sup>	
1日平均供給量	80,973m <sup>3</sup>	81,000m <sup>3</sup>	
料金収入	1,443,461千円	1,434,866千円	
建設改良費 (債務負担行為設定額)	876,760千円 (520,000千円)	690,720千円 (80,000千円)	

※閏年による供給量増の影響